

授業科目	コミュニケーション・リハビリテーション学Ⅰ				
担当者	山口忍（実務経験者）				
実務経験者の概要	広島大学附属病院・京都大学附属病院の耳鼻咽喉科にて35年以上の経験				
学科名	理学療法学専攻	学 年	2年	総単位数	1単位
	作業療法学専攻	開講時期	後期	選択・必修	必修

■ 内 容

コミュニケーションの基本的スキルを身に着ける演習及び、傾聴の意味を理解する。適切なコミュニケーションが、人間の本能に根差した対応であることを理解する。

■ 到達目標

初対面の方に、不快感を与えず近づいていける。医療者の発言が対象者及びご家族にどのようにとらえられるかを知る。

■ 授業計画

- 第1回 「挨拶」は何のためにし、「笑顔」はどのような意味を持つか
- 第2回 「聴く」と「聞く」の違いを学ぶ
- 第3回 コミュニケーションにおけるポジショニング
- 第4回 やまびこのレッスン
- 第5回 声を出す、話すということ
- 第6回 医療関係者に言われて嫌だった言葉
- 第7回 〃 －グループでまとめ、発表する
- 第8回 人間の本能とコミュニケーション

■ 評価方法

小テスト20% 【科目試験（筆記試験）】70%
小テストを含む試験時に不正な行為があったと認められた者については、規程に定める第16条を適用し、当該学期の全ての試験を無効とし、失格（留年）とする。

■ 授業時間外の学習（予習・復習等）について

2コマ目から成績判定のための小テストを実施しますので、授業内の内容を復習する（15分程度）こと。

■ 教科書

書 名：不要

■ 参考図書

■ 留意事項

■ 講義受講にあたって

演習は照れずに積極的に行うこと。臨床では対象者の方を選ぶことはできないので、自身が苦手とするタイプの人とも明るくコミュニケーションができるようになる練習として、演習に取り組むこと。